# 地域とつながる家づくり

撮影／山内 紀人

**竹田 真志**（たけだ・まさし）

1982年大阪府生まれ。摂南大学、東京工業大学を経て、2009年にアトリエ・アンド・アイ 坂本一成研究室入社。その後ヨーロッパに活動の拠点を移し、ドイツのingenhoven architects、スイスのSchneider & Schneiderに所属。2019年に帰国後、福岡で活動を始め、raumusを設立。

リフォーム住宅部門　最優秀賞

## 『土田の民家』

竹田 真志（raumus）

陶芸家と料理家の夫婦である施主が、新しい生活の拠点とする岡山県に購入した茅葺き屋根の古民家の改修を手掛けました。改修前の家は、建ってから70年ほどの間に、何度かの増築や改修がおこなわれ、少し窮屈な印象になっていました。そこで、地域の古民家の持つおおらかな雰囲気を取り戻しながら、現代的なライフスタイルに合うよう大きく間取りを変更する改修を計画。玄関と一体的に使える土間には、陶芸家であるご主人が作品を制作する空間と展示する空間を設け、アトリエのような雰囲気に仕上げています。

今回、中国地方では初めての家づくりを手掛けました。歴史的な背景や、現代まで住まわれている古民家が点在する周辺の環境も調べたうえで、シンプルなプランでありながら、仕事柄、来客の多い施主夫婦の暮らしに合った、自由で新しい住まいのかたちを提案できたと思っています。その点を評価していただき、とてもうれしく感じています。

普段から、快適な家であることはもちろん、それ以上の提案をするために、時には家には関係のないことにも触れながら、クライアントとしっかり話をすることを心がけています。それは、ヒアリングを通して潜在的な可能性やニーズも汲み取っていく必要があると考えるからです。宅建士としての登録もしていますので、土地探しや物件探しから家づくりに関わり、住宅を通して、クライアントが「どう生きるか」の可能性を、広い視野で柔軟に提案していきたいですね。

### 自由で新しい、未来の住まいのかたちを提案する